

作物栽培管理情報

令和8年7月号

大分県中部振興局 生産流通部 地域営農・水田活用班

水稲の中干し

◎中干し

中干しの目的として①外気（酸素）による根の活性化、
②水田土壌から稲にとって有害なガスを追い出し、
③無効分げつ、下位節間の伸びを抑え倒状を防止することが挙げられます。
中干しの期間は水稲の茎数が※中干し開始日から5～7日間です。

干し加減は、踏むと田面に軽く足跡が付く程度



※中干し開始の目安

中干しは茎数が**320～330本/m²**に達したら開始します。
栽植密度によって1株当たり茎数の目安が異なるため、表を参考に中干しを開始してください。

条間×株間	株/m ²	株/坪	中干し開始時の茎数/株
30cm×18cm	18.5株	約61株	17.8本
30cm×20cm	16.7株	約55株	19.8本
30cm×22cm	15.2株	約50株	21.8本
30cm×24cm	13.9株	約46株	23.8本

☆ポイント

- ・生育の遅い圃場は根を傷めないよう、弱めに干しましょう。
- ・中干しの期間が終わった後は、収穫直前まで間断灌水に戻しましょう。

水稲高温対策技術

近年の高温により、高温耐性品種である「なつほのか」でも白未熟粒の発生が確認されています。

そこで、高温障害対策技術として「飽水管理」があります。

飽水管理とは、水をためずに田面を乾かさないう管理方法です。

水は浅水ほど入れずに、田面を湿らせる程度で管理します。

気化熱で地温を下げ、根に酸素を供給する効果があり節水対策にもつながります。

出穂後の高温が予想される場合は、出穂期から1週間後～収穫1週間前まで飽水管理を継続しましょう。

水稻雑草対策

◎ 水稻生育期の雑草対策

雑草発生圃場では、薬剤の使用時期（収穫前日数等）や雑草の葉齢を考慮して
早めに処理しましょう。

薬剤ごとに適用葉齢、水管理、使用時期が異なるので、ラベル等をよく読んで使用しましょう。

【除草剤例】

対象雑草	除草剤名	10aあたり使用量		使用時期	使用方法
		薬量	散布液量		
広葉雑草のみ	バサグラン粒剤	3~4kg	—	移植後 15日~収穫45日前まで	落水散布又はごく浅く湛水して散布
イネ科雑草のみ	クリンチャー1キロ粒剤	1kg	—	移植後 7日~ノビエ4葉期 (収穫 30日前まで)	湛水散布又は無人ヘリコプターによる散布
		1.5kg	—	移植後 25日~ノビエ5葉期 (収穫 30日前まで)	
広葉及びイネ科雑草	クリンチャーバスME液剤	1000ml	70~100L	移植後 15日~ノビエ5葉期 (収穫 50日前まで)	落水散布又はごく浅く湛水して散布
	レブラスギア1キロ粒剤	1kg	—	移植後 14日~ノビエ4葉期 (収穫 60日前まで)	湛水散布又は無人航空機による散布
	トドメバスMF液剤	1000ml	70~100L	移植後 15日~ノビエ6葉期 (収穫50日前まで)	落水散布又はごく浅く湛水して散布

乾田直播実演会を開催しました！

6月1日に（農）国分で乾田直播実演会を開催し、多くの方にご参加いただきました。
乾田直播は苗作りが不要で省力化が期待できる栽培方法です。
実演を通じて正確な播種方法と鎮圧のコツをお伝えしました。
今後の水稻作付の参考にしてください。
乾田直播についてのお問い合わせは下記をご参照ください。



お問い合わせ先：大分県中部振興局 地域営農・水田活用班 電話097-506-5791
ホームページ：http://www.pref.oita.jp/soshiki/11604/saibaikanrizyouhou.html

大豆の栽培管理

◎ 播種適期と播種量

大豆の播種適期は**7月1日～7月15日**です！

早播きは過繁茂や倒伏しやすくなります。また7月中旬以降の播種は収量が大きく下がります。

播種量は播種時期によって加減してください。
遅くとも**7月20日**までには播種を終わらせましょう。

播種適期

時期	条間×株間	播種量
6月下旬	70cm×27cm	4kg/10a
7月上・中旬	70cm×21cm	6kg/10a
7月下旬	70cm×15cm	8kg/10a

耕起播種からなるべく時間を空けずにすぐに除草剤を散布するようにしましょう。
耕起から時間がたって**圃場が乾いた状態で散布すると除草効果が薄くなります**

◎ 雑草防除

大豆は初期生育時の雑草防除が重要です。

除草剤の使用時期を確認し、必ず散布を行いましょう。

使用時期	薬剤名	10aあたり使用量		雑草名
		薬量	希釈水量	
耕起前または 出芽前まで (雑草生育期)	ラウンドアップ マックスロード	200～500 mL	通常散布 50～100 L 少量散布 5～50 L	—
播種後出芽前 (雑草発生前)	ラクサー乳剤	400～800 mL	100 L	一年生雑草
播種後出芽前 (雑草発生前)	フルミオWDG	5～10g	100 L	広葉雑草のみ
出芽直前～3葉期 まで	パワーガイザー液 剤	200～300ml	100 L	一年生雑草
2葉期～開花前	大豆バサグラン液 剤	100～150ml/10a	100 L	広葉雑草のみ

フルミオWDGについて

- ・1年生広葉雑草に効果が高いです（キク科、ホオズキ類には効果が高い）。
- ・イネ科雑草に効果がないため、ラクサー乳剤等と混用して使用しましょう。

◎アサガオの対策について

アサガオはつる化すると防除が難しくなります。下記の体系を行い、初期の対策を心がけましょう。

土壌処理剤

- ① 大豆播種後 ラクサー乳剤＋フルミオWDG

大豆の出芽と同時に雑草も出芽し始めます。雑草が大きくなると効きにくくなるのでこの段階で防除に努めましょう！

イネ科植物に薬害が出やすい。
ドリフトに注意する！

茎葉処理剤

- ② アサガオの2葉まで パワーガイザー液剤
③ アサガオつる化前まで 大豆バサグラン液剤

非選択性の除草剤

④ パワーガイザー＋大豆バサグランでも抑えきれず、雑草発生が続く場合、ザクサなどの**非選択性除草剤**を**吊り下げノズル**を用いて散布

大豆に飛散しないよう注意！



農業情報メール配信の登録募集！

～米・麦・大豆の栽培管理情報をいち早くキャッチしよう！～

★ 登録方法 ★

配信受付（スマート申請システム）

<https://tzk.graffer.jp/pref-oita/smart-apply/surveys-alias/nougyouzyouhou>

上記のアドレスまたはQRコードからアクセスし、メールアドレス等の必要事項を入力してください。後日、農業情報をメール配信します。

